

—悪魔との詰め将棋(2)—

07/12/17~29

戦後の日本政治実態は“操り人形”で動いてる。きつい労働での高い税金でなぜ国民生活保障にならないかの根源がここにあるのです。

優生主義サタン世界支配思想

↓

—長期支配完遂プログラム施工—

① 占領下人脈とCIA 網基礎形成。

- (1) 戦争指導者天皇.軍警察.官僚実業医学
名界エリートの飴鞭での徴用。
- (2) 警察軍.マスコミ紐支配
(平時の国民マクロ.ミクロ情報支配)
- (3) 官界行政.教育文化界の米国紐化。
- (4) 実業経済界の米国紐化。

米国への物資.資本上納国にする

② 国民思想能力秘密内定調査と秘密管理

- (1) CIA 秘密管理の政治宗教思想団体。 ⇒
- (2) 行政各種団体.地域等の上部に代理人配置
- (3) 腐敗的人物を重用し,真正人物を潰す。
土着平民民族派は根絶やしにする。
米国崇拜愚民化を助長する。心理操縦で
憎悪動機グループを秘密活用する(ナチス陰謀理論)

③ 国民思潮の「政治から物金崇拜愚民化策」

- (1) 国民を経済に駆り立て、虚栄競争化で
分裂させて政治団結を削ぐ(奴隷化策)
- (2) 腐敗マスコミ.教育を最大限度利用。
事件醜聞話題の秘密演技操作で
愚民化の各種陰謀を推進する。

<<まもなく凋落の米国 !! >>

繁栄米国の世界へ飾り窓効果

- (1) 世界最大帝国の軍事占領
米軍基地=CIA 基地
- (2) 世界最大米国経済市場
- (3) 科学技術文化影響力
- (4) 米国崇拜の愚民化策背景

保守政権党の日米紐一本化

<野党無能化の各種陰謀工作>

☞ : 以下報告は 02/8/12 作成文を今回補修した内容。

—岸(^60)–福田赳夫(76~78)...小泉–安部–福田康夫:軍需 CIA 軍需政権の系譜–
「彼らこそが戦後日本の米国隷属政策–表裏の演出者たち！」

CIA 洗脳所= [巣鴨 prison 出身の岸](#): 日本占領政策基礎としての 60 年日米安保強行政策、
岸継承路線= 福田赳夫: 大陸棚協定で資源放棄, 一方で有事法制の偽装右翼タカ派。福田拓
大路線の戦後最大 CIA 政権小泉: 地場産業資源派潰し、一方で有事法制の偽装右鷹派。

敗戦後も日本は先進国では珍しい実質独裁支配自民党だが、その内部は自立派と米国
追従派の対立歴史でもある。この構造を知るは将来日本を読み解く重大な鍵になる。

[1]: 敗戦 – 占領米軍統治と CIA 網敷設。

米国には伝統的な西進政策がある。東部入植から西部開拓, ハワイ併合, そして日本、中国アジア。
CIA は戦時中の軍諜報機関から戦後発展的創立。「目的は米国益追求手段としての諜報活動」
日本での活動も軍諜報機関から始まり、CIA に引き継がれた。

① 占領下人脈: 占領米軍 = GHQ は 6 年間日本占領政策遂行の為に利用可能な人材を集めた。

天皇, 旧(戦犯軍人、参謀本部、中野学校関係者、高級官僚、特高警察)、731 石井部隊、医学者、
政界人、右翼指導者、共産黨員、宗教活動家、財界人、学会–新聞ラジオ人、戦犯を逃れた天皇を
筆頭に旧体制の権力奉仕者全てが対象になったとされ、戦後日本で彼らは占領政策遂行、および
講和独立後の日本に於いても継続的に現代に至るまでその協力活動網がある。有名なキャン
機関協力グループは後に NHK, 電通、PR 機関に流されたとされるは留意事項。中心になる核は次に
分類でき、縦横に彼らは米国益の為に協力している。

1: マスコミ、2: 政界、3: 医学界、4: 警察自衛隊 5: 官僚民間諜報組織、6: その他、

筆者観測では最もその活動顕著なるが 1 マスコミであり、諜報活動なるが故に必然、これは日本国民
思考を米国益へ無意識下で操作する事を目的とする。但し彼らは直ぐばれる形になる様な報道
姿勢は見せないが、その根底は一つ意思で統一されている。当然ながら多くは無意識間接協力者
で、CIA 直属と言うのは稀で、多くが隠れてこの形になる。彼らの活動、歴史等の詳細は
戦後発刊された市販文書等で大筋が語られてる。現代の操作方法は組織集団としての統一意思
の下に利益誘導–地位等脅迫抱き合わせ誘いの手口が主流。彼らの多くは米国に利権が絡がる。
又は反共の一部国民と言う事実は戦後以来変わらない。統一意思機関とめぼされる所は本国
CIA–米大使館–米軍基地–電通(広告代理店)、警察某所は下請け機関だが、民間にも根を張って
る。相応のマスコミ経験者ならば、多くがこの構造を承知と思われる。だが戦後日本のマスコミ界に
は一つの不文律がある。CIA の日本活動を大々的に取り上げない事だ。田原氏、筑紫氏、NHK に
出来るかどうか、皆で電話して見るとよからう。

② どうして裏切れるのか？！:

筆者は米大手企業 5 年勤務経験があるが、そこでの日本人は 2 種になる。「言いなりになる人、ならない人」。組織になると自己道徳規範が働かない例は珍しくない。彼らには言い訳が必要なのだ。米国は良い国だから、その協力は日本の為になると言う論法だ。ならば日本に限らず、アジア、中南米、中東等に於いて戦後米国が自国利益一途の為に、如何にかの国の国民をひどく欺いたか歴史真相を無視してるのだ。自由選挙での左翼政権誕生では軍部抱き込みのクーデター転覆の歴史枚举に暇がない。そこでは決まってテロ軍部独裁政治が後に残り、国民に塗炭の苦しみを残してきたのが真相だ。最近では IMF で誘い、後に破産に追い込み、搾取する重大経済犯罪が無視できない。

③ 大野達三氏の「アメリカから来たスパイたち」で協力者に上げられた人々。

政界では岸信介、佐藤栄作、福田赳夫、財界では小林中、右翼では田中清玄、三浦儀一、児玉誉士夫、笹川良一、旧軍人では有末精三、土居明夫尾、総合警備の村井順、……これらはいささか古い資料で故人も多いが、その悪伝統は現状でも絶えてはいない。筆者観測で判明した事は、戦後最大 CIA 小泉政権、「美しい日本」などの右礼賛で米国追従の安部、野党対策では高位意思で無能との判断で首が飛び、引き継いだ福田はとぼけ腹話術師だが、年金照合と肝炎被害者直訴問題で馬足をあらわして今窮地、この系列は列記とした体制マスコミと一対の軍需 CIA 派である。注目されるのは 小泉時代に批判派がマスコミから相当駆逐されてる事だ。イスラム中東権威の拓殖大佐々木良昭教授、彼は酒席で埋められた可能性が強い。反竹中の経済学者上草秀和教授、従来から保守批判派の有能な評論家多数、残ったのはカスばかりでないのか？！

④ “政敵を潰す CIA 陰謀手口は決まってワンパターン”。

「買収脅迫と過失汚点、あの手この手出で何でも陰謀で相手を罠に詰め、“マスコミ等で暴露”をもって国民前で引き摺り回し、ともかく何が何でも“悪役”に仕立て国民離反を謀る」。田中ロッキード、小泉反地場派の政敵になった鈴木宗夫、加藤紘一、田中真紀子、辻本清美、皆同類パターンで潰れてる。通称フレームアップ、TV 映画スパイ大作戦でもよく知られた陰謀法。

[2] : 岸(60)-福田赳夫(76~78)...小泉-安部-福田康夫:軍需 CIA 政権の系譜-

①岸信介首相は戦後間のない 1960 年日米安保強行の首相で有名、後の日本を決定する。

彼は戦時占領国満州国官僚で、戦後占領米軍に A 級戦犯を問われ、巣鴨プリズン入獄、出所まもなくにして首相の座に着くが、その最大仕事は戦後最大の国民反対を押し切り、前述日米安保の強行だった。之は実態米国の軍事占領の永久化の始まりで、その後の日米外交の性格を決定づけてしまった。即ち対米政治経済軍事追従、あるいは補完体制である。外交では鳩山のソ連、石橋の中国外交から、対米中心としたアジア外交に転じてる。これらは米国意向にピッタリ沿う証拠である。それに先立ち、1957 年第一次防衛力整備計画決定で戦後初の国防路線に歩み出す。之も米国意向に沿う。内政では教員勤務評定、道徳教育、1958 年国民に極めて不評の警察官職務執行法等の“鷹派反動政治”が顕著化。参加人員 33 万人国会デモ行使の下で 60 年安保強行成立と引き換えに総辞職して時の役目を終えてる。彼は巣鴨出所後、CIA の脅迫を語ってる。

②福田赳夫は元大蔵官僚、昭和電工疑獄で辞職後、日本独立後初選挙で岸と同期当選、以来岸最大の腹心にして、小泉師匠、1978 年には広大な農地潰しの上で成田強行開港。更に日韓大陸棚協定で資源放棄、一方で制服組の来栖統合幕僚会議長の自衛隊超法規出動発言に便乗して有事法制立法に動き、建国記念奉祝式典政府後援の偽装右翼ぶり。彼は「これからの日本—激動下の祖国、旭屋出版」で当時のソ連アフガン侵入を捉え、ソ連膨張主義に備えた防衛体制に言及、いわゆる外に敵を設定して内側引き締め反動政治口実にするパターンを見せる。之は小泉、安部、現福田にも共通。ところが 1976 年のロッキードに続く 79 年ダグラスグラマン事件で福田-岸-中曽根の鷹派が標的にされたが、結果はうやむやだった。だが之は彼らに CIA 脅迫ネタになっただろう。たとえば二階堂代議士がレーガン訪日時、「東京には CIA200 人を配置してる。協力者ならば 400 人近くいる」と告げられたと言う。弱みは常に握られてるの脅迫なのだ。

③小泉父は元防衛庁長官、米軍基地横須賀の世襲政治家、その政治史は福田秘書に始まる。「世襲最大特徴は権威に従順、弱者に冷淡」(世襲天井である天皇を中心とする日本の会の森派元会長)。時期並行して元 CIA 長官にして大統領経験者ブッシュの息子が大統領、正に日米同時 CIA 政権誕生！、ブッシュ来日では靖国神社訪問をして偽装右翼小泉を立てる芸の細かさも見せた<日本売り小泉なればこそ、一層右偽装して国民をだます逆戦略が必須化>。
戦後最大 C I A 政権の彼が言った事と結果をよく注意しようでないか。

(1)ワンフレーズ政策、日本人は言葉の格好良さで簡単に騙された。「痛みを耐えて構造改革」=政権就任後の経済指標は若干山谷あれど{失業倒産数、株価}は悪化一途、確かに痛みと言うのが嘘でないの国民だましに見事効果、問題の構造改革が何だか国民は判らない。資本主義弱肉強食の論理=企業-社員淘汰=**格差化推進**だった事が後に判明。当時緊縮財政の日本経済弱体化で日本売りと言われて経済指標総下落、

この経済が逆転するのは日本安売りが進行し、更にりそな銀行への政府一兆円融資が決まった後である。赤字財政乱発での米国イラク戦争景気と騙し低金利住宅ローン＝サブプライム融資扇動での住宅ブームでの米景気上昇に付随する世界景気上向きでの米&中国等輸出で日本も見かけの再浮上を果たすが、例の痛みに耐えての構造改革は総所得の大企業、高所得層への富シフトだけで、逆に平均賃金は何と低下したのだ。格差拡大は20年前の米ベーカー国務長官の日本は所得をより top heavy にせよが小泉で完成した事を意味する。

90年以降の日本企業総収益を07年まで見ると10%程度幅の伸びしかない。GDP値も1995＝496, 2005＝540兆で10%程度。近年伸びは大企業中心の海外輸出依存。基本的に国内商売は頭打ちにあり、総所得不変で中身が高低に2極化した。

- (2)資源地場産業潰しも並行、トンネル工事佐藤工業、海洋土木青木建設、北海道雪印乳業、北海道拓銀は銀行間短期融資市場で資金調達妨害本州銀行団陰謀で潰されたと言う、これほどの歴史伝統と規模の銀行破綻は珍しいとされる。北海道支部議員は小泉イエスマンに徹底し、同北海道議員の鈴木宗男議員は田中式政治糾弾として汚職疑惑で逮捕。
- (3)旧田中派系下地一つの地場派根城である郵政族基盤の郵政民営化策、地場派と国際派と言う基礎対立視点で見ると、小泉政権意図が徹底した地場派潰しが良く見えるのだ。直系田中真紀子氏も外務省との内乱で結局、外相辞任に追い込まれた。自民は旧田中系が主流派にあり、本来は小派閥＝旧福田系が現自民主流派になった事に重大意図がある。
- (4)「課税最低限引き上げ、保険料値上げ、情報保護法と住民基礎ネットの強行」。
これらは国民生活と自由を欺く鷹派反動政治として一括できる、岸福田路線継承。

(5)軍拡路線(福田有事立法の再浮上と自衛隊海外派遣、テロ特別措置法)：

「福田(赳夫)政権は今日、諸外国からの外圧をきっかけとして、日本の外に敵を設定する国防と安全保障の国民的合意を旗印に、国家内部の分裂要因を隠し、自民党の日本征服を策謀する」赤間剛、神々の陰謀Ⅲ。この一文で福田赳夫を、小泉安部、福田康夫と置き換え、諸外国を9/11関連と北朝鮮等と置換すれば現状にも見事に一致。現在の福田政権最大関心事が米軍給油支援なのだ。その為に福田小沢密室会談スキャンダルも起こり、年金照合破綻問題では選挙公約をとぼけたり、当初は薬害肝炎訴訟団の直訴をあしらった物の予測外の国民反発を買い(内閣支持率10%急降下)、あわてて取り消すと言う一連の姿勢を見れば福田の顔が国民でなく「米国意向伺い」が判るだろう。米国には金を注ぐが、肝心の納税者国民への対価たる行政責任遂行では、本音後ろ向きがわからねばならない。

④小泉-安部-福田派の歴史秘密：

日本は東京や大阪だけでない。小日本と言えど各地の異なる根深い、傍からは見えにくい歴史伝統があるものだ。たとえば九州島原に江戸鎖国時代を隠れキリシタンで生き延びた信者がいる。明治維新から140年も経つが、維新時代が現代になほ生きてる典型こそが長州藩山口県の政治支配。前述の岸、佐藤、安部元総理は皆長州出身者たち。民主党では官直人議員、戦後共産党の立役者である宮本元議長もだ。左右に揃う。筆者の世界認識転換になった「神々の陰謀」著者で政治思想専門家の赤間剛氏も長州、彼から現代世界と日本支配裏構造の大方を学んだとしても過言でない(筆者結論はフリメソンの目的は「世襲エリート支配没落防止同盟という反民主保守機能」が本質)。長州は薩摩同様に元は尊皇攘夷派だったが下関戦争で英米仏等の連合艦隊に敗北、占領されてる。薩摩も同様の経緯あり。その後彼らが王政英国を後ろ盾に維新革命を起こしたのである。ここでは長崎の武器商人である英国人トーマスグラバが大活躍したのだ。明治維新は実は王政英国の陰謀で、共和制仏はそれに反対して幕府加勢の経緯がある。明治維新政府の重鎮には英国留学組、お雇い外人で近代日本は形成されたのだ。

もう一つ戦後(戦前?)以来の謎とされたM資金問題、金余り現代では全くと言えるほどに影が薄い、戦後の暫くは種々取りざたされた。推理小説の第一人者である松本清張氏の小説に「深層海流」がある。M資金問題だが、ここでG県が登場する。然るに筆者はそれは群馬県だと想像する。なぜか、保守の中曽根、福田元総理出身県ではある意味で長州に近いのだ。戦後初の民間平民から皇室に嫁いだカソリックの日清製粉正田家がここだ。なぜ群馬県なのだろうか、実は長野県境を接する軽井沢に謎を解く鍵がある。ここは明治に英国聖公会のカナダ人宣教師アレキサンダーCショウが別荘地として見出し、明治文化人多数が集まると同時に各国のキリスト教会が開かれた。正田家は戦前からのカソリックだからこの時代に由来するだろう・筆者推測では山口県と群馬県こそは近代日本の英国に絡む保守本流の発祥地と言う結論である。日本保守権力は新興勢力の東京や大阪でなく、古くからの英国日本皇室に絡むここらに由来するらしい。因みに骸骨と骨秘密結社の現職ブッシュ大統領も英国皇室と縁戚関係にある。これらが国際極右の正体なのである。なほ山口県岩国市の市民投票実施の井原元市長と大多数反対派市民は神奈川県厚木基地米軍一部機能移転に反対する愛国者たち。引き換え米原空母棒寄港問題での神奈川県の小泉地元の蒲谷横須賀市長下では市民投票すら忌避されたのだ。

[3] : 国民の税金元締め=「政府-官僚行政に巢食う悪霊の追っ払い」を皆で考える :

「腐敗的要素を持つ人物を支配者」にし立て、之を操り人形にするのがドイツナチス開発の謀略技術、戦後創立米 CIA にナチ人材と技術が丸ごと移転され(paper clipp 作戦)、戦後日本、海外諸国で陰謀実験されてきた。戦後日本政治を総括すれば政府行政&マスコミは騙しの超天才=悪霊支配にある、彼等は米国を身分庇護後ろ盾にし、半ば国民血税を長期に渡って私物化し、かつ他方で米国上納補佐と言う次第だ。よく日の丸官僚と言うが、**主役納税者**を裏切る者がどうして日の丸なのだ。

軍需派 CIA 政権本質は日本の生産する物資資本の米国上納、米国世界支配体制補完にあり、この結果減る**国民所得**と**納税対価**(行政国民奉仕)を「**如何に誤魔化すか**」にある。その典型は与党腐敗、野党無力化での国民政治離れ、保守体制延命にこれぞ最も彼らが望む事、

まさかと思うだろうが**社会福祉支出削減長期陰謀**としてあるのが業務&健康環境悪化による国民寿命縮小策、過酷な就業&業務、国民生存資源潰しも兼ねた**田畑緑地沿岸潰し**と都市商工業化扇動での大気汚染と死因一位化の肺癌、マスコミ扇動の奇異なグルメブーム、若年層ジャンクフード、ドリンク氾濫と医療費総額 1/3 の糖尿病蔓延、医療行政が促進した肝炎、エイズ等の医療被災、医療制度&年金介護制度の**破綻陰謀**等々、.....

全ては**政治行政無能を偽装**した上位意思に由来する故意なのです!! (証拠を示せて?!).

[4] : 国民理想郷の一つが岩手県の片田舎で実現されてる！、

現日本自給率4%に対して、何とエネルギー自給率80%の「葛町」!!:

(<http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>).

その気になりさえすれば何でもやれる者なのですね! 資源産品自給率向上は自分のみならず、国際資源供給市場の緩和安定化で危急世界にも貢献です。

－参考書－

- (1)赤間剛、神々の陰謀Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、時の経済社、1984、1985、1985
- (2)赤間剛、ヒトラーの世界、三一書房、1983、
- (3)山川暁夫、C I A、教育社、1978。
- (4)小山内宏、見えない政府 the CIA、ベストブック社、1976。
- (5)森川哲郎、戦後史、アメリカの謀略の謎、日本文芸社、1972。
- (6)倉前盛通、悪の論理、日本工業新聞社、1987.
- (7)K. Millegan & A. Sutton、闇の超権力. スカル&ボンズ、徳間書店、2002
- (8)馬野周二、藤原肇、日本の危険、東明社、1986.
- (9)佐藤朝泰、閨閥、立風書房、1985。
- (10)藤原肇、小泉純一郎と日本の病理、光文社、2005.
- (11)高野猛、M資金、日経新聞社、1980.